

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 1 月 30 日 (2020.1.30)

【公表番号】特表 2019-500930 (P2019-500930A)

【公表日】平成 31 年 1 月 17 日 (2019.1.17)

【年通号数】公開・登録公報 2019-002

【出願番号】特願 2018-527235 (P2018-527235)

【国際特許分類】

A 4 7 J 37/06 (2006.01)

F 2 4 C 15/20 (2006.01)

F 2 4 C 7/04 (2006.01)

F 2 4 F 7/06 (2006.01)

【F I】

A 4 7 J 37/06 3 1 6

F 2 4 C 15/20 F

F 2 4 C 7/04 3 0 1 A

F 2 4 F 7/06 1 0 1 A

F 2 4 F 7/06 1 0 1 B

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 1 年 12 月 13 日 (2019.12.13)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

食物調理用のヒーターを具備した排煙フード装置であって、
調理部から発生する煙を吸い込む吸入部と、
上記吸入部から吸い込まれた煙を外部に排出させる排気管と、
上記排気管及び上記吸入部のいずれかの外部一侧に設けられ、上記調理部の上部で発熱するヒーターアセンブリーと、
を含み、

上記ヒーターアセンブリーは、
発熱部を含むヒーターと、
上記発熱部に対向する側の上記ヒーターの部位を取り囲むハウジングと、
一端が上記ハウジングの一侧から延び、他端が上記排気管及び上記吸入部のいずれかに
回動部を介して回動可能に結合される連結部と、

上記排気管の一侧に装着され、上記回動部によって上記排気管側に回動した上記ハウジ
ングを固定させるストッパーと、

上記ヒーターを上記ハウジングの内側面に連結するサポータと、を含むことを特徴とす
る、食物調理用のヒーターを具備した排煙フード装置。

【請求項 2】

上記連結部は、
上記排気管及び上記吸入部のいずれかの第 1 側部に連結される第 1 連結部と、
上記排気管及び上記吸入部のいずれかにおいて、上記第 1 側部と異なる箇所である第 2
側部に連結される第 2 連結部と、を含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の食物調理用
のヒーターを具備した排煙フード装置。

【請求項 3】

上記ハウジングは、

上記調理部側の開放部である第 1 開放部と、

上記第 1 開放部の対向側に形成された第 2 開放部と、を含む、請求項 1 に記載の食物調理用のヒーターを具備した排煙フード装置。

【請求項 4】

上記排煙フード装置は、

上記ハウジングの内側の一領域に取付けられる、温度を感知する温度感知センサーを含むセンサーモジュールと、上記温度感知センサーの温度情報を受信して基準温度と比較処理することによって上記ヒーターのオン/オフを制御するオン/オフ制御部とを有するコントローラをさらに含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の食物調理用のヒーターを具備した排煙フード装置。

【請求項 5】

上記排気管は、長さ方向に沿って一定間隔で複数個が凹入形成された高さ調節孔、及び、ファスナーを介して上記高さ調節孔に締め付けられ、上記連結部の端部が結合された固定部を含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の食物調理用のヒーターを具備した排煙フード装置。

【請求項 6】

上記ヒーターは、上記サポータに連結された第 1 プレートと、上記第 1 プレートの前面側で昇降可能に設置され、上記発熱部を含む第 2 プレートとからなることを特徴とする、請求項 1 に記載の食物調理用のヒーターを具備した排煙フード装置。

【請求項 7】

上記センサーモジュールは、上記ハウジングの内側の一領域、または上記吸入部の内側の一領域に取り付けられる、煙の有無と煙の量を感知する煙感知センサーをさらに含み

、

上記ヒーターは、上記サポータに連結された第 1 プレートと、上記第 1 プレートの前面側で昇降可能に設置され、上記発熱部を含む第 2 プレートとからなり、

上記コントローラは、上記温度感知センサー及び上記煙感知センサーの温度情報及び煙情報を受信して、基準温度と基準煙情報と比較して処理することによって、上記第 2 プレートの昇降駆動をそれぞれ制御する昇降制御部をさらに含むことを特徴とする、請求項 4 に記載の食物調理用のヒーターを具備した排煙フード装置。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 2】

また、上記ヒーターアセンブリーは、発熱部を含むヒーターと、上記発熱部に対向する側の上記ヒーターの部位を取り囲むハウジングと、一端が上記ハウジングの一側から延び、他端が上記排気管及び上記吸入部のいずれかの外部一侧に結合される連結部と、上記ヒーターを上記ハウジングの内側面に連結するサポータとを含むことを特徴とする。